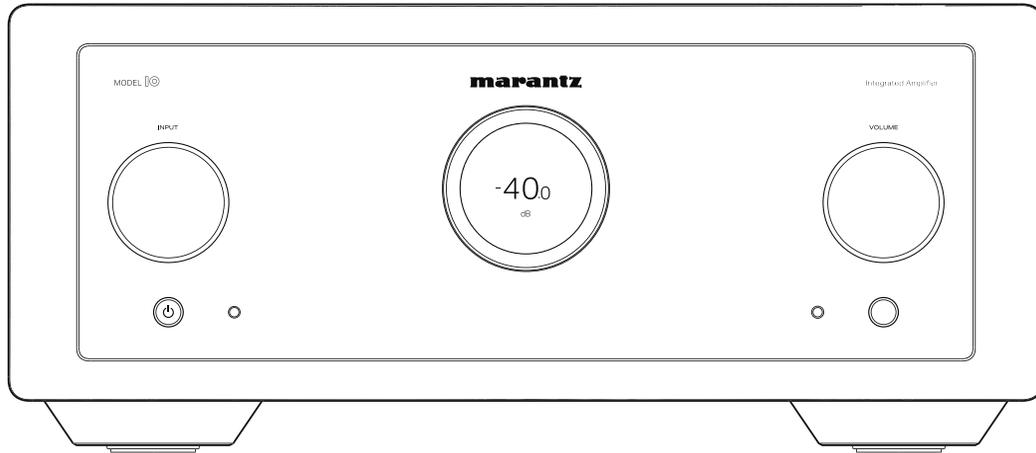


marantz



MODEL [] [] | Integrated Amplifier

取扱説明書

目次

使用上のご注意	4	外部のコントロール機器を接続する	36
携帯電話使用時のご注意	4	FLASHER IR IN 端子	36
お手入れについて	4	リモートコントロール端子(REMOTE CONTROL)	37
結露(つゆつき)について	4	電源コードを接続する	38
付属品	5	再生のしかた	
乾電池の入れかた	6	電源を入れる	40
リモコンの使いかた	6	電源をスタンバイにする	40
各部の名前	7	入力ソースを選ぶ	41
フロント/トップパネル	7	音量を調節する	41
リアパネル	10	一時的に音を消す(ミュートイング)	41
リモコン	12	音質および音量バランスを調節する	42
接続のしかた		ソースダイレクトモードで再生する	44
スピーカーを接続する	18	ディスプレイの明るさを切り替える	44
スピーカー A/B 接続	20	フロントパネルイルミネーション、筐体内イルミネーションおよびディスプレイの点灯/消灯を切り替える	45
バイワイヤリング接続	21	本機をパワーアンプとして使用する	45
再生機器を接続する	22	録音する	46
録音機器を接続する	24		
プリアンプやパワーアンプを接続する	25		
MODEL 10 を複数台接続する(F.C.B.S.接続)	27		
F.C.B.S.接続の準備	27		
ステレオコンプリートバイアンプ接続	30		
5.1 マルチチャンネルの接続	32		

設定のしかた

設定メニュー 一覧	47
設定メニューの操作のしかた	48
Level Meter	49
Illumination	49
Volume Scale	50
Phono	50
Auto-Standby	51
リモコンコードを設定する	52
リモコンのリモコンコードを設定する	53
本体のリモコンコードを設定する	53
リモコンのSACDプレーヤー/ストリーミングプリアンプ 操作モードを無効にする	54
SACDプレーヤー操作モードを無効にする	55
ストリーミングプリアンプ操作モードを無効にする	55
リモコンの音量調節ボタンの操作対象機器を設定する	56
SACDプレーヤー操作モード時の音量調節ボタンの操 作対象機器を設定する	57
ストリーミングプリアンプ操作モード時の音量調節ボタ ンの操作対象機器を設定する	57

困ったときは

こんなときの解決方法	59
故障かな?と思ったら	60
電源が入らない / 電源が切れる	61
リモコンで操作ができない	63
本機のディスプレイが表示されない	64
音がまったく出ない	64
希望する音が出ない	65
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	66
保証と修理について	67
エラーメッセージについて	69

付録

用語の解説	70
主な仕様	71
索引	74

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1~2 時間放置してから使用してください。

ステレオ音のエチケット



- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

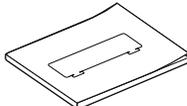
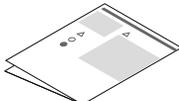
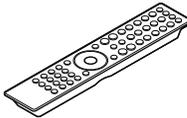
お買い上げいただきありがとうございます。

本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに「安全にお使いいただくために」・「保証書」とともに大切に保管してください。

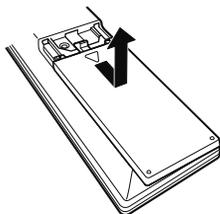
付属品

ご使用になる前にご確認ください。

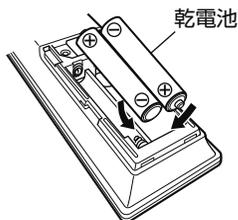
 かんたんスタートガイド	 取扱説明書(本書)	 安全にお使いいただくために	 保証書
 電源コード【本機専用】	 リモコン (RC004PMND)	 単4形乾電池(2本)	

乾電池の入れかた

1 裏ぶたを矢印の方向へ押し上げて取り外す。



2 乾電池(2本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



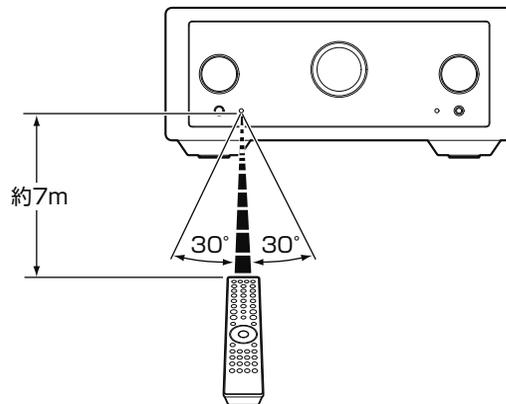
3 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- 破損・液漏れの恐れがありますので、
 - 新しい乾電池と使用済みの乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた

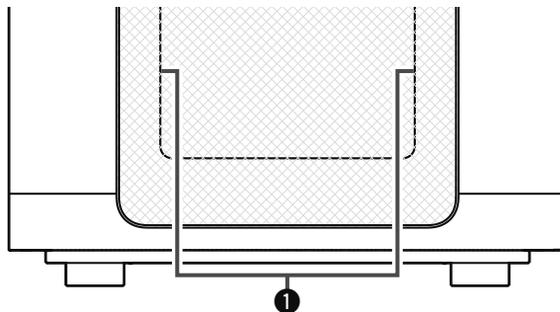
リモコンはリモコン受光部に向けてご使用ください。



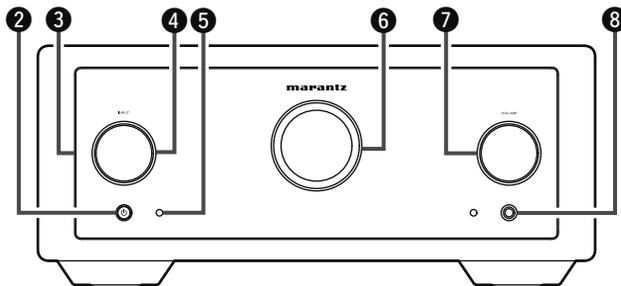
各部の名前

フロント/トップパネル

【トップパネル】



【フロントパネル】



詳しくは、次のページをご覧ください。

目次

接続のしかた

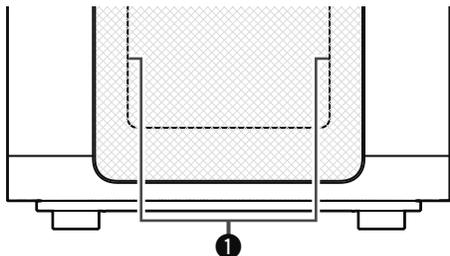
再生のしかた

設定のしかた

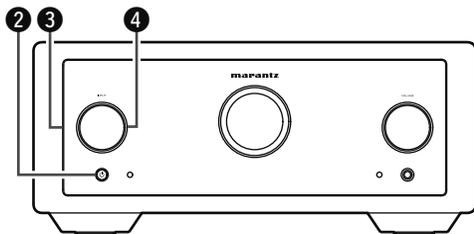
困ったときは

付録

【トップパネル】



【フロントパネル】



① 筐体内イルミネーション

電源をオンにすると点灯します。明るさを調節したり消灯したりできます。

- 「フロントパネルイルミネーション、筐体内イルミネーションおよびディスプレイの点灯/消灯を切り替える」(P.45 ページ)
- 「Illumination」(P.49 ページ)

② 電源ボタン(⏻)/電源表示

- 電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(P.40 ページ)
- 電源の状態によって、次のように点灯します。
 - 電源オン時: 白色
 - スタンバイ時: 消灯
 - 保護回路動作時: 橙色(点滅)

③ フロントパネルイルミネーション

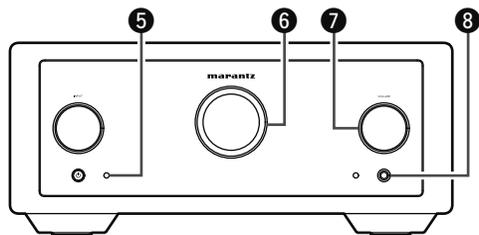
電源をオンにすると点灯します。明るさを調節したり消灯したりできます。

- 「フロントパネルイルミネーション、筐体内イルミネーションおよびディスプレイの点灯/消灯を切り替える」(P.45 ページ)
- 「Illumination」(P.49 ページ)

④ 入力ソース切り替えつまみ(INPUT)

入力ソースを切り替えます。(P.41 ページ)

【フロントパネル】



⑤ リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。(P.6 ページ)

⑥ ディスプレイ

各種情報を表示します。

⑦ 音量調節つまみ (VOLUME)

音量を調節します。(P.41 ページ)

⑧ ヘッドホン端子

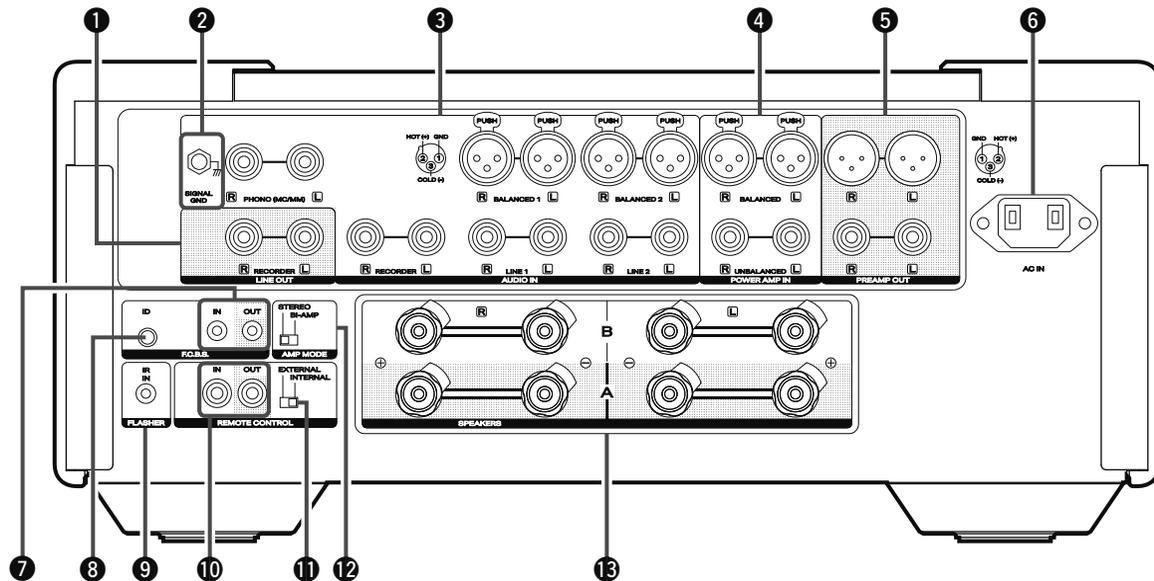
ヘッドホンを接続します。

ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカーおよびプリアン
プ出力端子 (PREAMP OUT) から音が出なくなります。

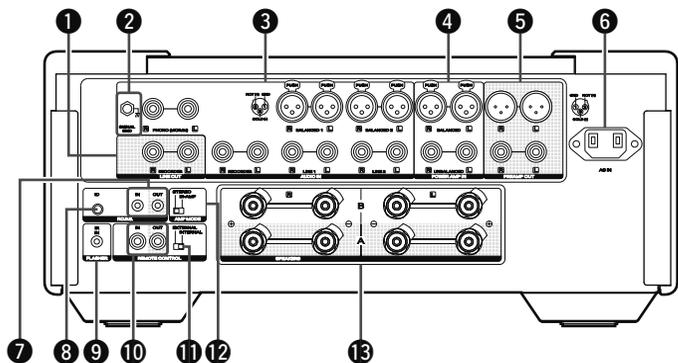
ご注意

- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

リアパネル



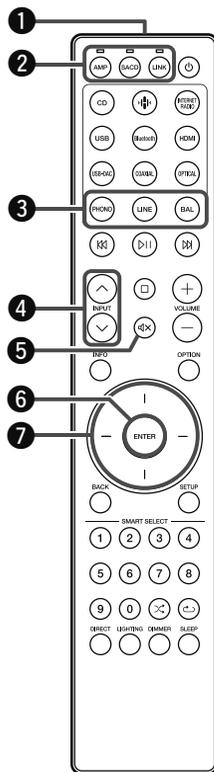
詳しくは、次のページをご覧ください。



- ① **アナログ音声出力端子(LINE OUT/RECORDER)**
録音機器の入力端子を接続します。(☞24 ページ)
- ② **アース端子(SIGNAL GND)**
レコードプレーヤーのアース線を接続します。(☞22 ページ)
- ③ **アナログ音声入力端子(AUDIO IN)**
アナログオーディオ出力端子付きの機器を接続します。
 - ・「再生機器を接続する」(☞22 ページ)
 - ・「録音機器を接続する」(☞24 ページ)
- ④ **パワーアンプ入力端子(POWER AMP IN)**
本機をパワーアンプとしてご使用になる場合に、プリアンプを接続します。(☞25 ページ)

- ⑤ **プリアンプ出力端子(PREAMP OUT)**
パワーアンプを接続します。(☞25 ページ)
- ⑥ **AC インレット(AC IN)**
電源コードを接続します。(☞38 ページ)
- ⑦ **F.C.B.S.入出力端子**
本機を複数台使用した高品位な再生システムの接続に使用します。(☞27 ページ)
- ⑧ **F.C.B.S. ID ボタン**
F.C.B.S.の ID を設定します。(☞29 ページ)
- ⑨ **FLASHER IR IN 端子**
コントロールボックスなどを接続します。(☞36 ページ)
- ⑩ **リモートコントロール入出力端子(REMOTE CONTROL)**
リモートコントロール機能に対応している Marantz 製オーディオ機器を接続します。(☞37 ページ)
- ⑪ **EXTERNAL/INTERNAL スイッチ**
Marantz 製オーディオ機器とリモート接続してスイッチを“INTERNAL”に切り替えると、本機がリモコン信号を受信し、接続した機器は本機からのリモコン信号を受けて動作します。(☞37 ページ)
- ⑫ **アンプモード切り替えスイッチ(AMP MODE)**
アンプモードを切り替えます(STEREO/BI-AMP)。(☞30 ページ)
- ⑬ **スピーカー端子(SPEAKERS)**
スピーカーを接続します。(☞18 ページ)

リモコン



付属のリモコンは本機だけでなく、Marantz 製の SACD プレーヤーおよびストリーミングプリアンプを操作することができます。

- 「SACD プレーヤーの操作」(P.14 ページ)
- 「ストリーミングプリアンプの操作」(P.15 ページ)

■ 本機の操作

本機を操作するときは、AMP を押して、リモコンを本機の操作モードに切り替えてください。

① リモコン信号送信窓

リモコンの信号を送信します。(P.6 ページ)

② リモコン操作モードボタン/表示(AMP/SACD/LINK)

- リモコンの操作モード(AMP/SACD/LINK)を切り替えます。
- 操作している機器に応じてリモコン操作モード表示が点灯します。

③ 入力ソース選択ボタン(PHONO/LINE/BAL)

入力ソースを選択します。(P.41 ページ)

④ 入力ソース切り替えボタン(INPUT へ)

入力ソースを選択します。(P.41 ページ)

⑤ ミュートボタン(🔇)

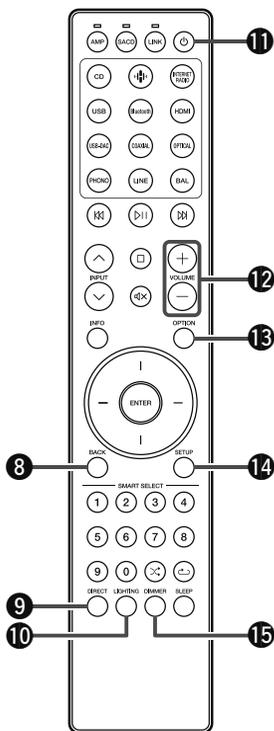
消音します。(P.41 ページ)

⑥ エンターボタン(ENTER)

選択した内容を確定します。

⑦ カーソルボタン

項目を選択します。



8 バックボタン(BACK)

前の項目に戻ります。

9 ダイレクトボタン(DIRECT)

ソースダイレクトモードをオン/オフします。(P.44 ページ)

10 ライティングボタン(LIGHTING)

フロントパネルイルミネーション、筐体内イルミネーションおよびディスプレイを点灯/消灯します。(P.45 ページ)

11 電源ボタン(⏻)

電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(P.40 ページ)

12 音量調節ボタン(VOLUME +/-)

音量を調節します。(P.41 ページ)

13 オプションボタン(OPTION)

オプションメニューをディスプレイに表示します。

- 「音質および音量バランスを調節する」(P.42 ページ)



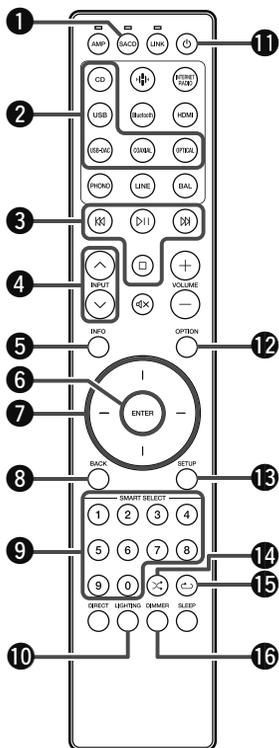
- 入力ソースが“Power Amp Balanced”および“Power Amp Unbalanced”の場合、オプションメニューは表示されません。

14 セットアップボタン(SETUP)

ディスプレイに設定メニューを表示します。(P.48 ページ)

15 ディマーボタン(DIMMER)

ディスプレイの明るさを調節します。(P.44 ページ)



■ SACD プレーヤーの操作

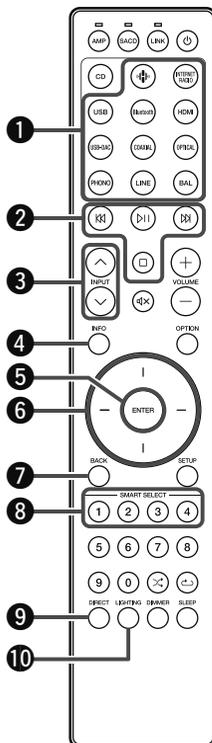
Marantz 製 SACD プレーヤーを操作できます。

SACD プレーヤーを操作するときは SACD ボタンを押して、リモコンを SACD プレーヤーの操作モードに切り替えてください。

- ① リモコン操作モードボタン(SACD)
- ② 入力ソース選択ボタン
- ③ システムボタン
- ④ 入力ソース切り替えボタン(INPUT へ)
- ⑤ インフォメーションボタン(INFO)
- ⑥ エンターボタン(ENTER)
- ⑦ カーソルボタン
- ⑧ バックボタン(BACK)
- ⑨ 数字ボタン(0~9)
- ⑩ ライティングボタン(LIGHTING)
- ⑪ 電源ボタン(⏻)
- ⑫ オプションボタン(OPTION)
- ⑬ セットアップボタン(SETUP)
- ⑭ ランダムボタン(⌘)
- ⑮ リピートボタン(↺)
- ⑯ ディマーボタン(DIMMER)



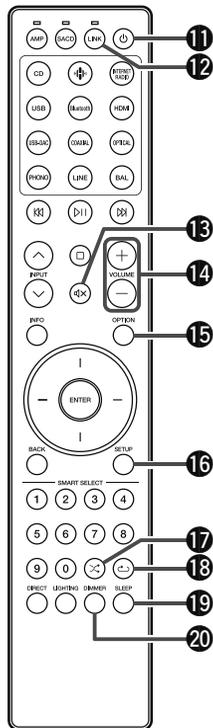
- 一部操作ができない製品もあります。



■ ストリーミングプリアンプの操作

Marantz 製ストリーミングプリアンプを操作できます。
ストリーミングプリアンプを操作するときは LINK ボタンを押して、リモコンをストリーミングプリアンプの操作モードに切り替えてください。

- ① 入力ソース選択ボタン
- ② システムボタン
- ③ 入力ソース切り替えボタン (INPUT へ)
- ④ インフォメーションボタン (INFO)
- ⑤ エンターボタン (ENTER)
- ⑥ カーソルボタン
- ⑦ バックボタン (BACK)
- ⑧ スマートセレクトボタン (SMART SELECT 1~4)
- ⑨ ダイレクトボタン (DIRECT)
- ⑩ ライティングボタン (LIGHTING)



- ① 電源ボタン(⏻)
- ② リモコン操作モードボタン(LINK)
- ③ ミュートボタン(🔇)
- ④ 音量調節ボタン(VOLUME +/-)
- ⑤ オプションボタン(OPTION)
- ⑥ セットアップボタン(SETUP)
- ⑦ ランダムボタン(✖)
- ⑧ リpeatボタン(↺)
- ⑨ スリープタイマーボタン(SLEEP)
- ⑩ ディマーボタン(DIMMER)



• 一部操作ができない製品もあります。

接続のしかた

■ 目次

スピーカーを接続する	18
再生機器を接続する	22
録音機器を接続する	24
プリアンプやパワーアンプを接続する	25
MODEL 10 を複数台接続する(F.C.B.S.接続)	27
外部のコントロール機器を接続する	36
電源コードを接続する	38

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードと一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。

■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルを準備してください。

スピーカーケーブル	
オーディオケーブル	
バランスケーブル	
リモート接続ケーブル	
モノラルミニプラグケーブル	

スピーカーを接続する

ご注意

- スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- スピーカーケーブルの芯線が、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、+側と-側が接触したりすると、保護回路が動作します。(「保護回路」(P.70 ページ))
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。
- スピーカーは次のインピーダンスのものをお使いください。

ご使用になる本機のスピーカー端子	接続するスピーカー数	スピーカーインピーダンス
SPEAKERS A (標準的な接続)	2本(1組)	4~16Ω
SPEAKERS B	2本(1組)	4~16Ω
SPEAKERS A および SPEAKERS B	4本(2組)	8~16Ω
SPEAKERS A および SPEAKERS B (バイワイヤリング接続時)	2本(1組)	4~16Ω

■ スピーカーケーブルを接続する

本機と接続するスピーカーの左チャンネル(L)、右チャンネル(R)、+(赤)、-(白)をよく確認して、同じ極性を接続してください。

- 1 スピーカーケーブル先端の被覆を10mm程度はがし、芯線をしっかりよじるか、端末処理をおこなう。



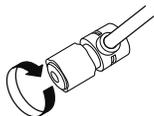
- 2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。



- 3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の穴に差し込む。



4 スピーカー端子を右に回して締める。

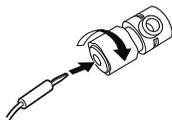


Y ラグ端子



バナナプラグの場合

端子を右に回して締め付けてから挿入する。

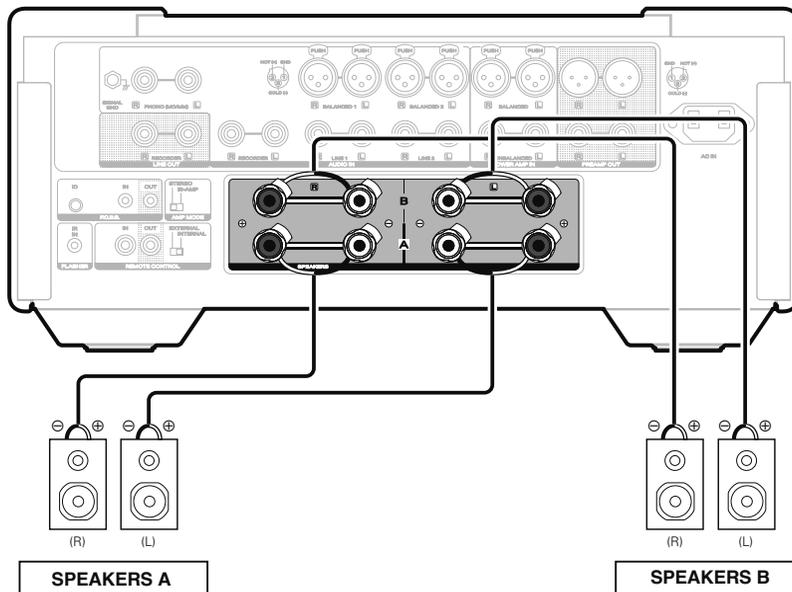


スピーカー A/B 接続

本機には、2 系統のスピーカー端子(SPEAKER A および SPEAKER B)があります。それぞれに 1 組ずつ、最大 2 組のスピーカーを接続できます。

SPEAKERS A 端子および SPEAKERS B 端子からは同じ信号を出力します。

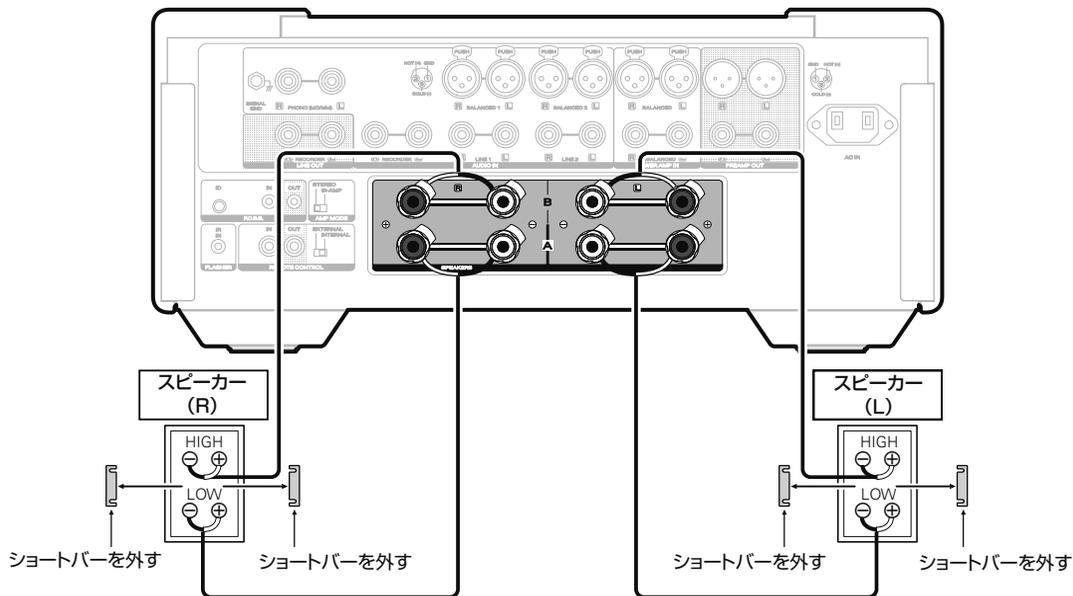
スピーカーを 1 組のみ接続するときは、SPEAKERS A または SPEAKERS B 端子のどちらかに接続してください。



バイワイヤリング接続

この接続では高域用スピーカー(ツイーター)と低域用スピーカー(ウーファー)間の信号が干渉することによる音質への影響をおさえることができるため、高品位な再生をお楽しみいただけます。

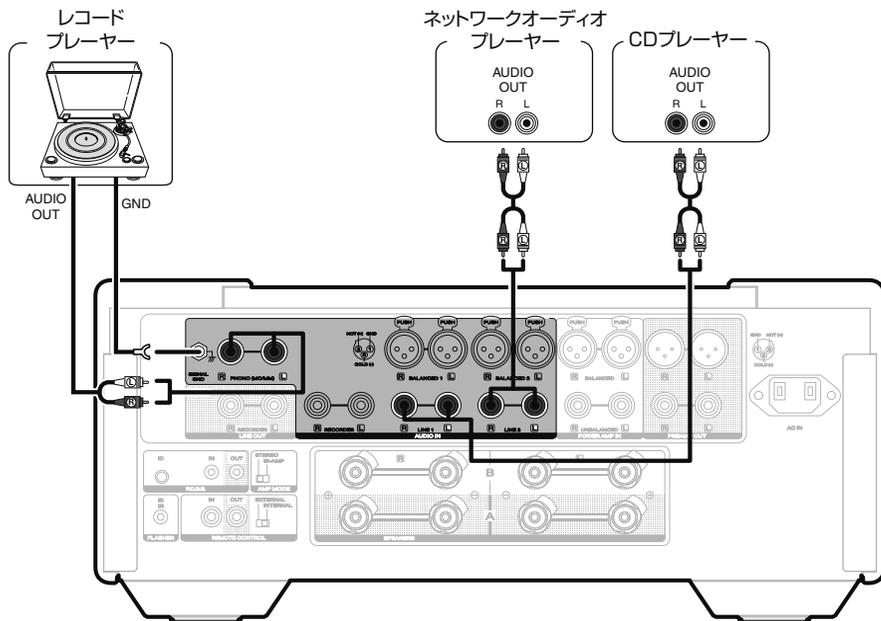
バイワイヤリング接続に対応しているスピーカーの高域用入力端子と SPEAKERS B(または SPEAKERS A)を、低域用入力端子と SPEAKERS A(または SPEAKERS B)をそれぞれ接続してください。



再生機器を接続する

本機には、レコードプレーヤー、ネットワークオーディオプレーヤー、および CD プレーヤーを接続できます。接続するレコードプレーヤーのカートリッジの種類に合わせ、設定メニューの“Phono”で本機のフォノイコライザーを設定してください。(P.50 ページ)

本機の入力ソースを“Phono”にし、レコードプレーヤーを接続せずに音量を上げると、“ブーン”という雑音が発生することがあります。



ご注意

- 本機のアース端子(SIGNAL GND)は、安全アースではありません。雑音が多いときに接続すると、雑音を低減できます。ただし、レコードプレーヤーによっては、アース線を接続すると逆に雑音が大きくなる場合があります。この場合は、アース線を接続する必要はありません。



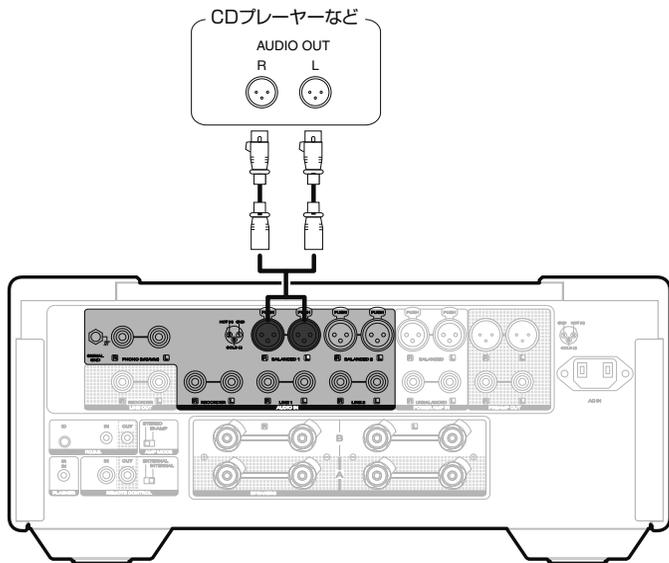
- PHONO 入力端子には、ショートピンプラグが装着されています。レコードプレーヤーを接続する際は外してください。外したショートピンプラグは大切に保管してください。

■ バランス端子について

本機には、アンバランス端子の他にバランス端子を搭載しています。バランス端子は 3 ピン構造のため、音声信号を平衡信号で伝送でき、外来ノイズの影響を少なくすることができます。また、着脱ロック機構のためコネクタ部のぐらつきが少なく、信頼性が高いといった特長があります。



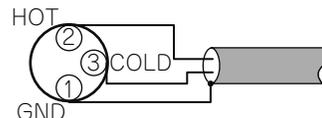
- バランス接続は全段バランス構成です。



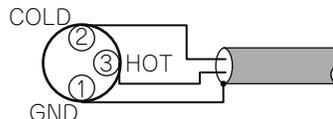
■ バランス端子の位相について

XLR 端子の接続方法には 2 とおりのタイプがあります。本機では、ヨーロッパ方式を採用しています。

- ヨーロッパ方式(② PIN=HOT / ③ PIN=COLD)

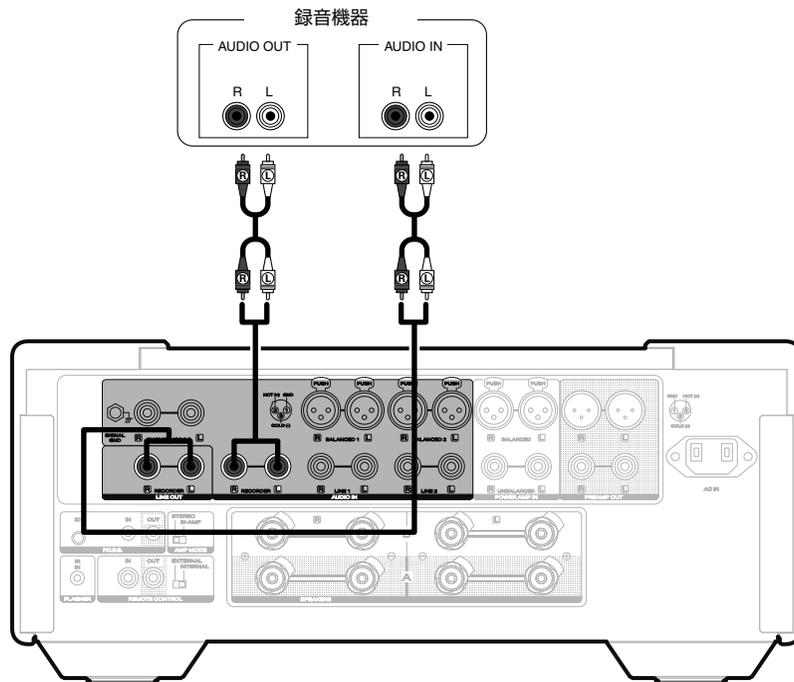


- USA 方式(② PIN=COLD / ③ PIN=HOT)



本機と USA 方式を採用している製品をバランスケーブルで接続すると、信号が逆位相になります。信号の位相を正しくするには、片側の XLR 端子の ②PIN と ③PIN を逆につなぎ換えてください。

録音機器を接続する

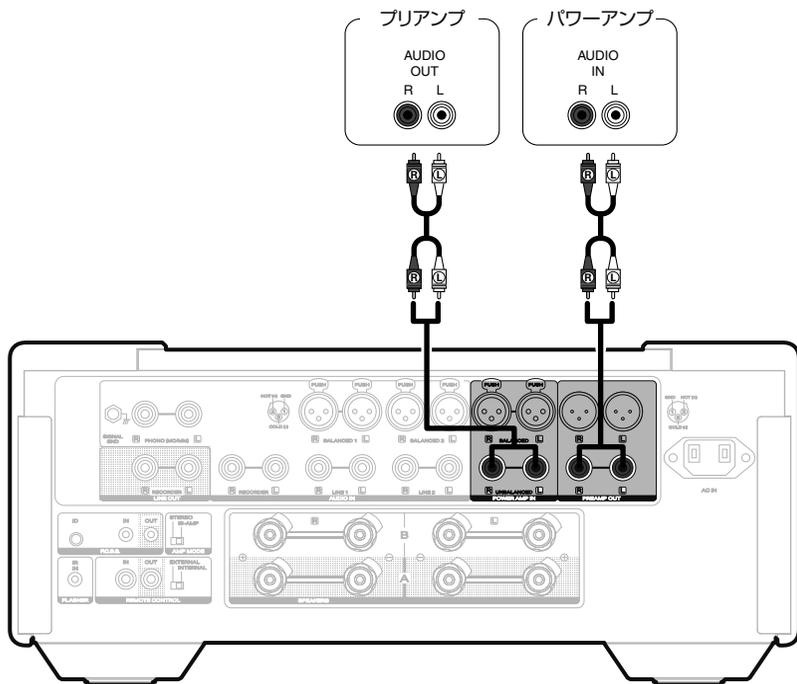


ご注意

- レコーダー出力端子(LINE OUT RECORDER)にショートピンプラグを挿入しないでください。故障の原因になります。

プリアンプやパワーアンプを接続する

パワーアンプを接続して本機をプリアンプとして使ったり、プリアンプを接続して本機をパワーアンプとして使ったりすることができます。



- プリアンプを接続して本機をパワーアンプとしてお使いの場合は、入力ソースを“Power Amp Balanced”または“Power Amp Unbalanced”に切り替えてください。(45 ページ)
- パワーアンプ入力端子 (POWER AMP IN/ UNBALANCED) には、ショートピンプラグが装着されています。プリアンプを接続する際は外してください。外したショートピンプラグは大切に保管してください。

ご注意

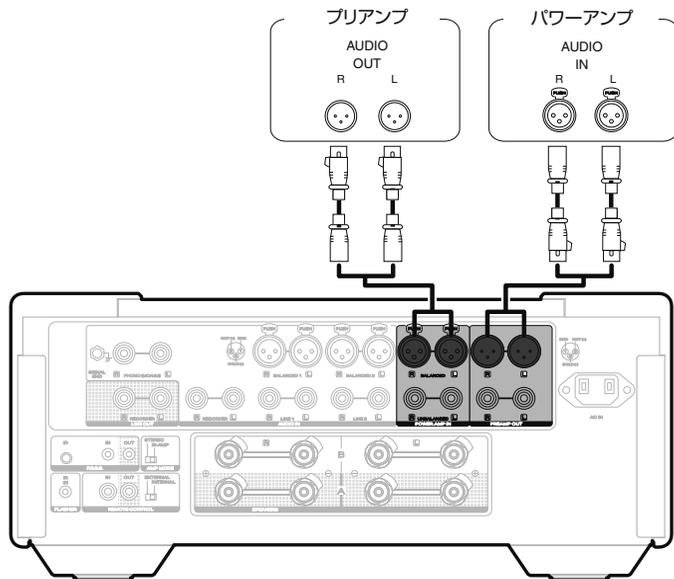
- プリアンプ出力端子 (PREAMP OUT) にショートピンプラグを挿入しないでください。故障の原因になります。

■ バランス端子について

本機には、アンバランス端子の他にバランス端子を搭載しています。バランス端子は3ピン構造のため、音声信号を平衡信号で伝送でき、外来ノイズの影響を少なくすることができます。また、着脱ロック機構のためコネクタ部のぐらつきが少なく、信頼性が高いといった特長があります。



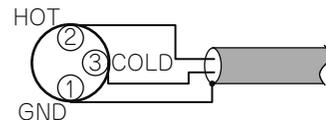
- バランス接続は全段バランス構成です。



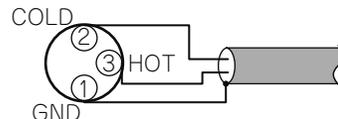
■ バランス端子の位相について

XLR 端子の接続方法には2とおりのタイプがあります。本機では、ヨーロッパ方式を採用しています。

- ヨーロッパ方式(② PIN=HOT / ③ PIN=COLD)



- USA 方式(② PIN=COLD / ③ PIN=HOT)



本機と USA 方式を採用している製品をバランスケーブルで接続すると、信号が逆位相になります。信号の位相を正しくするには、片側の XLR 端子の②PIN と③PIN を逆につなぎ換えてください。

MODEL 10を複数台接続する(F.C.B.S.接続)

Marantzのシステム制御方式であるF.C.B.S.(Floating Control Bus System)では、MODEL 10を複数台(最大4台)使用して高品位な再生システムを構築できます。それぞれの機器にIDを設定し、各機器を制御します。操作をおこなう機器(Leader)とリーダーから出力する操作信号を受ける機器(Member 1 - 3)をIDで設定します。Member 1 - 3には、リーダーからの出力信号を受ける順番にIDを設定します。F.C.B.S.で接続された機器にIDを設定することで、入力ソースの切り替え、音量の調節、ミュート、音量バランスの調節、音質の調節、ディスプレイの明るさの調節などの連動操作がおこなえます。また、MODEL 10を複数台使用する再生システムには、通常ステレオ出力の本機をモノラル出力アンプとして使用する機能もあります。それぞれの接続の説明にしたがって設定してください。

F.C.B.S.接続の準備

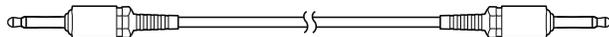
■ F.C.B.S.接続のしかた

MODEL 10を複数台使用した再生システムには、音声接続の他にF.C.B.S.接続が必要です。各再生システムの接続については、それぞれの接続の説明をご覧ください。

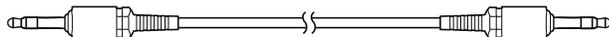
- 「ステレオコンプリートバイアンプ接続」(P.30 ページ)
- 「5.1 マルチチャンネルの接続」(P.32 ページ)

F.C.B.S.接続には、市販されている両端がミニプラグ形状のオーディオ接続用コードを、接続する機器の台数をご用意ください。接続コードは下記2種類のどちらでもかまいません。

- $\phi 3.5$ モノラルミニプラグ ↔ $\phi 3.5$ モノラルミニプラグの接続コード



- $\phi 3.5$ ステレオミニプラグ ↔ $\phi 3.5$ ステレオミニプラグの接続コード



ご注意

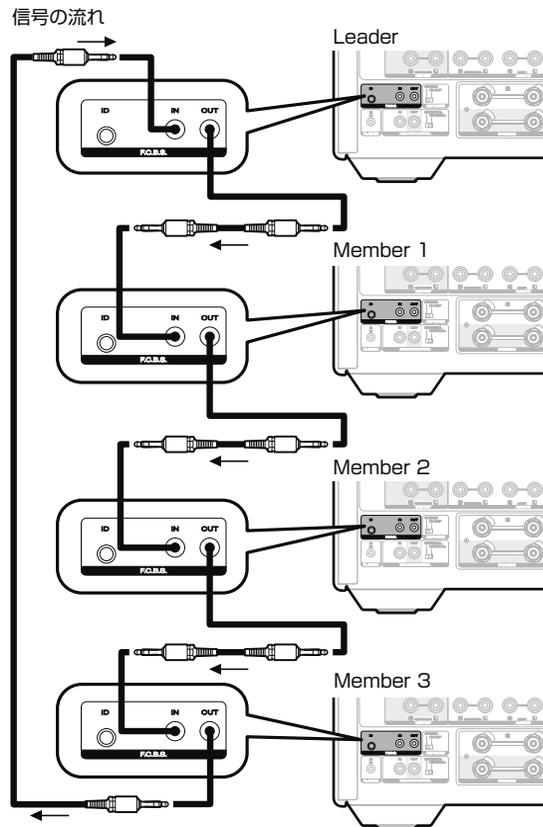
- 抵抗入りの接続コードは使用できません。

■ 接続例

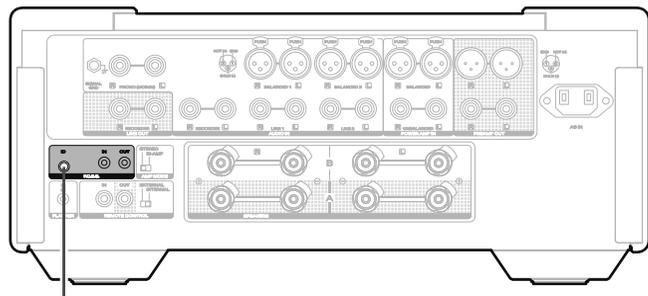
この例では ID を“Leader”に設定した機器が“Member 1”、“Member 2”、または“Member 3”に設定した機器をコントロールします。



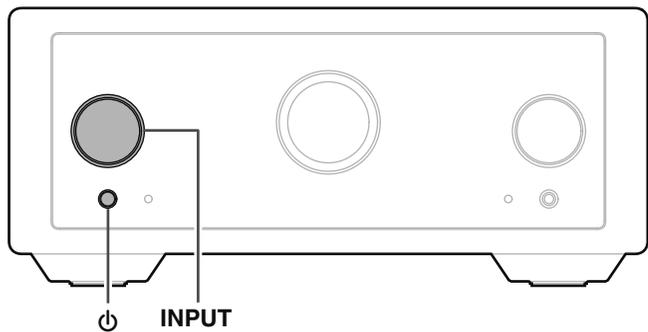
- 本機の F.C.B.S.機能は、MODEL 10 同士を接続する場合にのみ有効です。
- F.C.B.S.接続した複数台の MODEL 10 の電源をオンにする場合は、“Leader”-“Member 1”-“Member 2”-“Member 3”の順で電源をオンにしてください。電源をオフにする場合は、逆の順序でおこなってください。



■ F.C.B.S.のIDの設定のしかた



F.C.B.S. ID



- 1 リアパネルの F.C.B.S. ID を押しながらかいを押す。
- 2 本体の INPUT を回して ID を選ぶ。
 - 操作をおこなう機器 (Leader) とリーダーから出力する操作信号を受ける機器 (Member 1 - 3) を ID で設定します。
- 3 リアパネルの F.C.B.S. ID を押して、選んだ ID を確定する。

ディスプレイに ID を約 3 秒間表示した後、本機は自動的に再起動します。

 - “Member 1”、“Member 2”、または “Member 3” に設定すると、通常の画面に設定した ID が表示されます。

 本機をステレオアンプとして 1 台で使用する場合は、ID を “Off” に設定してください。(お買い上げ時の設定は “Off” です。)

 - ID を “Off” 以外に設定した場合は、本機を単独で使用できません。

ステレオコンプリートバイアンプ接続

本機 1 台に搭載している左右のアンプをひとつのモノラルアンプとして使用できるモード(バイアンプモード)です。2 台の MODEL 10 を F.C.B.S.接続して使います。

モードの切り替えは、本機の電源がオフのときにリアパネルのアンプモード切り替えスイッチ(AMP MODE)でおこないます。バイアンプモードに設定した場合は、ディスプレイに“BI-AMP”を表示します。

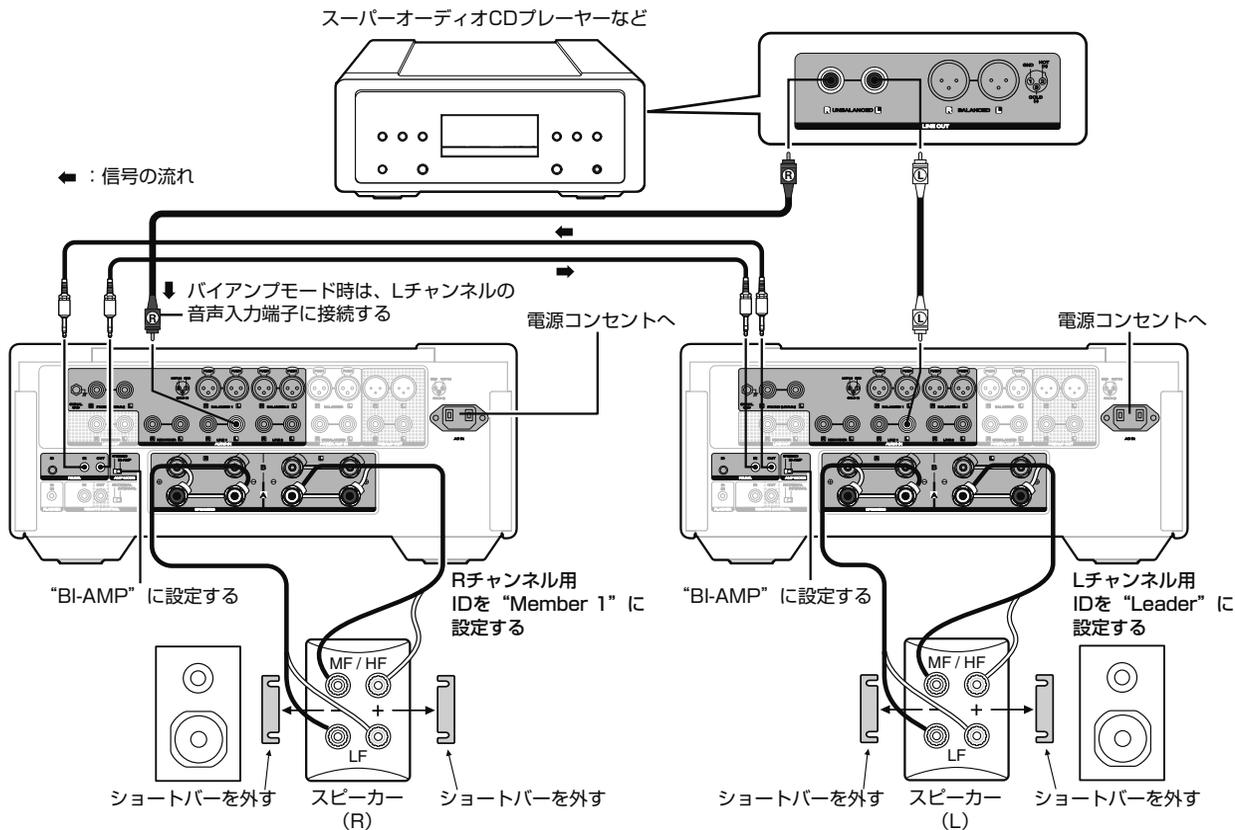
バイアンプモードでは、L チャンネルの音声入力端子に入力します。

R チャンネルの音声入力端子には入力できなくなります。

左右のスピーカー端子からは同じ音声信号を出力します。



- アンプモード切り替えスイッチ(AMP MODE)を操作する前に、必ず電源をオフにしてください。電源オンにすると設定が有効になります。
- バイアンプモード時は R チャンネルの音声入力端子は使用できません。
- バイアンプモード時は L チャンネルに入力した信号を両方のチャンネルに出力します。そのため、アナログ音声出力端子(LINE OUT/RECORDER)、プリアンプ出力端子(PREAMP OUT)およびヘッドホン端子からは L チャンネルと R チャンネルから同じ信号が出力されません。
- コンプリートバイアンプ接続できるスピーカーは、バイアンプ接続に対応している必要があります。接続する前にスピーカーの取扱説明書をご確認いただくか、スピーカーの製造元にお問い合わせください。



5.1 マルチチャンネルの接続

3 台の MODEL 10 を F.C.B.S.接続して連動動作させます。F.C.B.S.接続のしかたは、「接続例」(P.28 ページ)を参照してください。

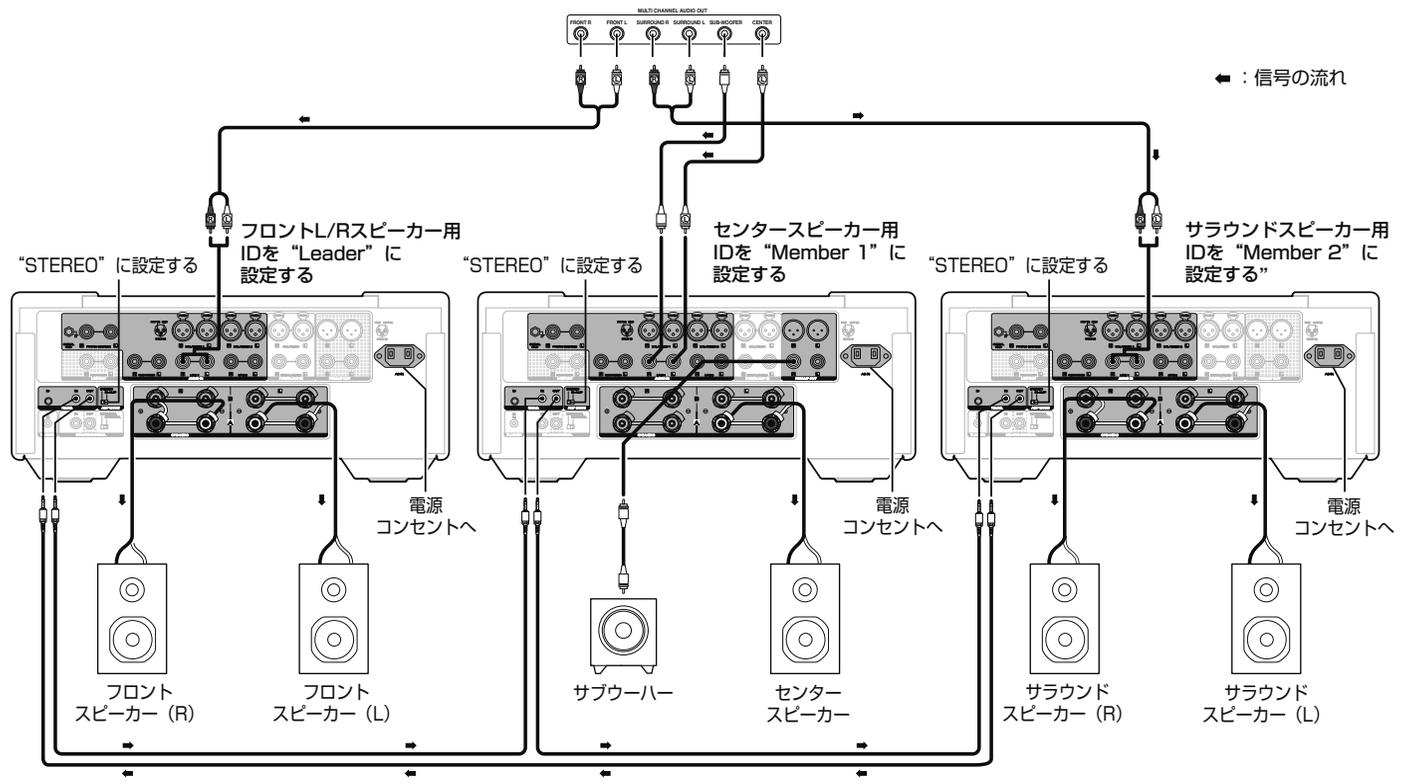
5.1 チャンネルアナログ出力を持つプレーヤーの出力をそれぞれ 3 台のアンプに接続します。

サブウーハーを使用する場合は、サブウーハーの取扱説明書をご覧ください。

3 台のアンプの ID を「F.C.B.S.の ID の設定のしかた」を参照して設定してください。(P.29 ページ)

- ID が“Leader”に設定された機器を操作すると、“Member 1”と“Member 2”に設定された機器が連動します。

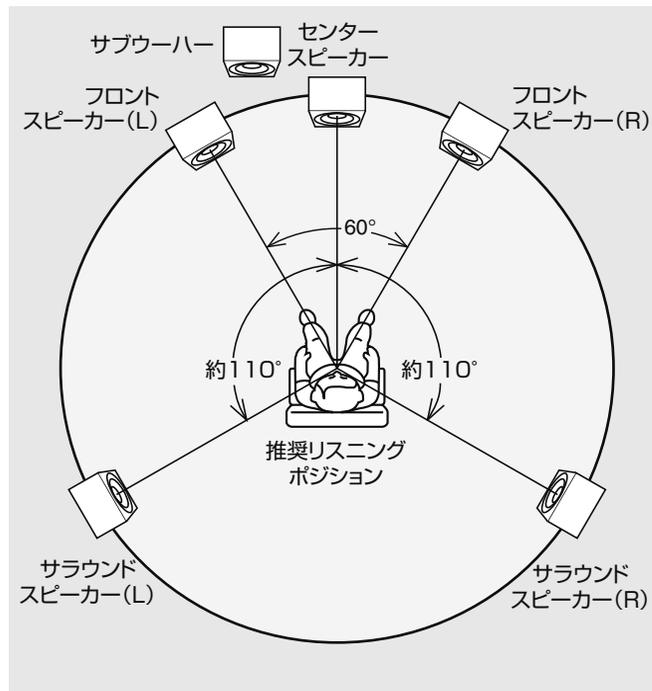
スーパーオーディオCDマルチチャンネルプレーヤーなど



■ スーパーオーディオ CD マルチチャンネル再生時のスピーカー設置について

スーパーオーディオ CD マルチチャンネルを最良な音場でお楽しみいただくには、ITU(国際電気通信連合)が定めた規格である「ITU-R BS.775-1 勧告」に準拠したスピーカーシステム配置をおすすめします。スーパーオーディオ CD マルチチャンネルディスクは、「ITU-R BS.775-1 勧告」に準拠したスピーカーシステム配置で最良の音場が得られるようにレコーディングやミキシングがおこなわれています。

- スーパーオーディオ CD マルチチャンネルのディスクに記録されている音声信号は 5 チャンネル(3~6 も可能)が基本で、6 番目のチャンネルとして LFE(サブウーハー用)が記録されていることもあります。
- 記録されているチャンネル数はディスクに表示してあります。
- スピーカーシステムの数は、フロント側 3 本、サラウンド(リア)側 2 本の 5 本が基本です。次の図のように、フロント(左右)、センター、サラウンド(左右)の各スピーカーシステムを、リスニングポジションを中心とする円周上に配置します。スピーカーシステムの大きさが異なるときは、アンプ側で各チャンネルの音量を調節してください。
- 図中のサブウーハーの位置は配置の一例です。実際はお部屋の環境に合わせて配置してください。サブウーハーの接続や設定方法は、サブウーハーの取扱説明書をご覧ください。



- ITU(International Telecommunication Union)

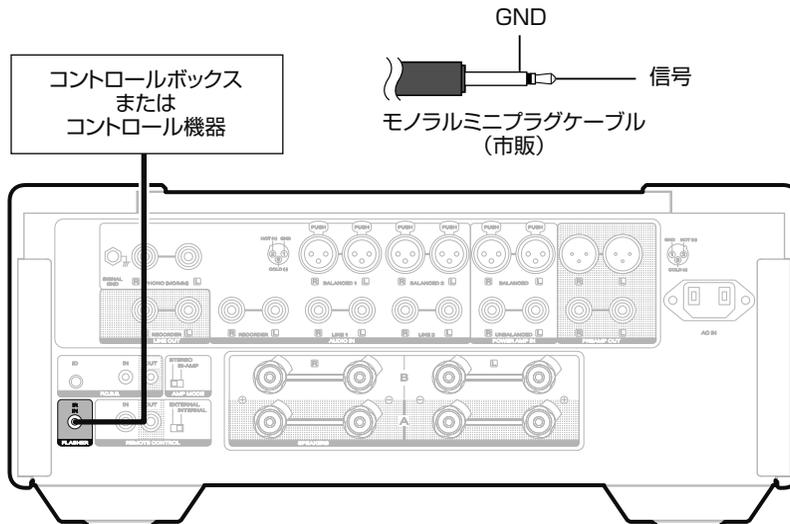
ITUとは「International Telecommunication Union(国際電気通信連合)」の略で、国際連合(UN)の専門機関の一つです。ITU-Rはその連合を構成する一つの部門で、「無線通信部門」です。

また勧告書のITU-R BSは“放送業務(音声)”に関する規格で、ITU-R BS.775-1はその中で「マルチチャンネル立体音響システム」について定められた規格です。

外部のコントロール機器を接続する

FLASHER IR IN 端子

コントロールボックスなどを接続することにより、本機をコントロールできます。



- FLASHER IR IN 端子を使用する場合は、EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“INTERNAL”に切り替えてください。

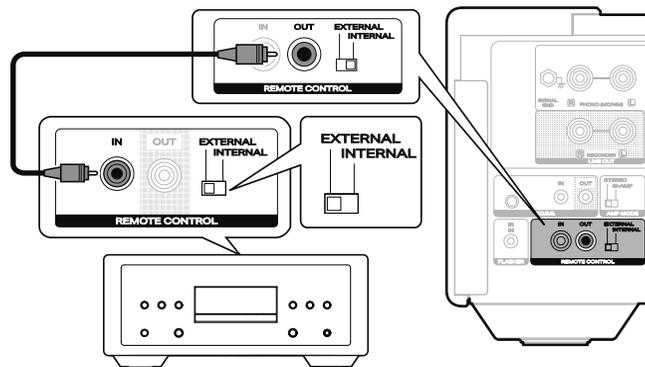
リモートコントロール端子(REMOTE CONTROL)

■ Marantz LINK 10n と SACD 10 をリモート接続する

Marantz 製オーディオ機器に付属しているリモート接続ケーブルを使用して、リモートコントロール入出力端子(REMOTE CONTROL IN/OUT)に機器を接続すると、本機の操作に連動して LINK 10n と SACD 10 の電源をオンまたはスタンバイ状態にすることができます。

本機と接続する機器の背面にある EXTERNAL/INTERNAL スイッチを次のとおり設定してください。

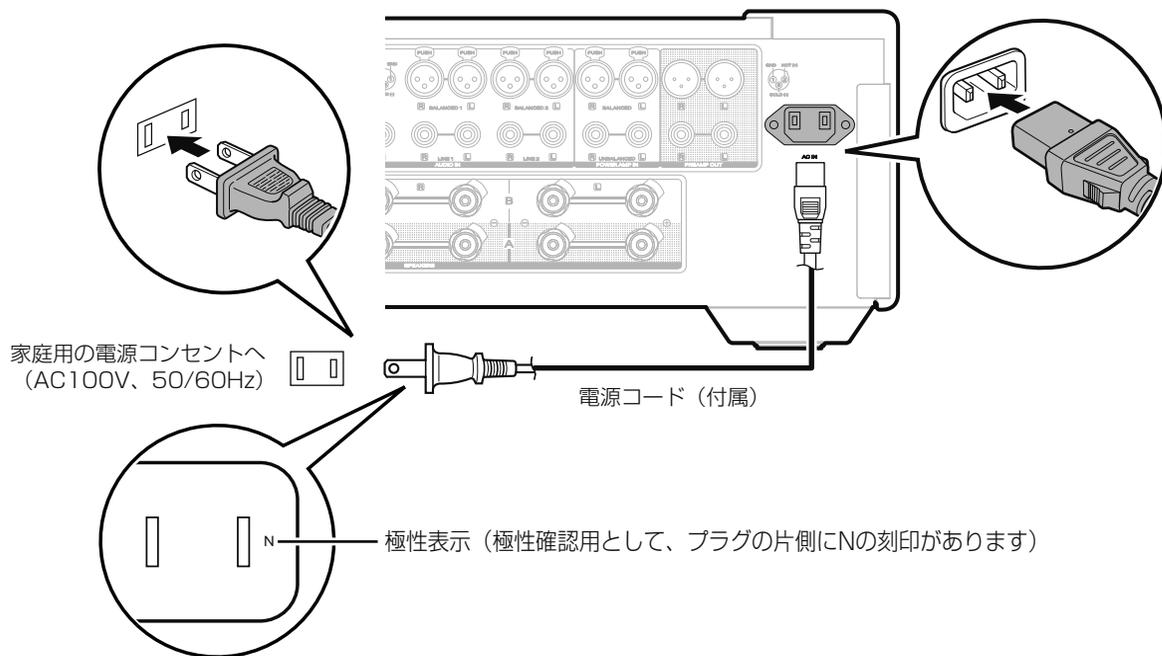
- 本機の EXTERNAL/INTERNAL スイッチを “INTERNAL” に切り替えます。
- 接続した機器の EXTERNAL/INTERNAL スイッチを “EXTERNAL” に切り替えます。



- リモコンは本機のリモコン受光部に向けて操作してください。
- Marantz 製オーディオ機器を接続せずに本機のみご使用になる場合は、EXTERNAL/INTERNAL スイッチを “INTERNAL” に切り替えてください。

電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。

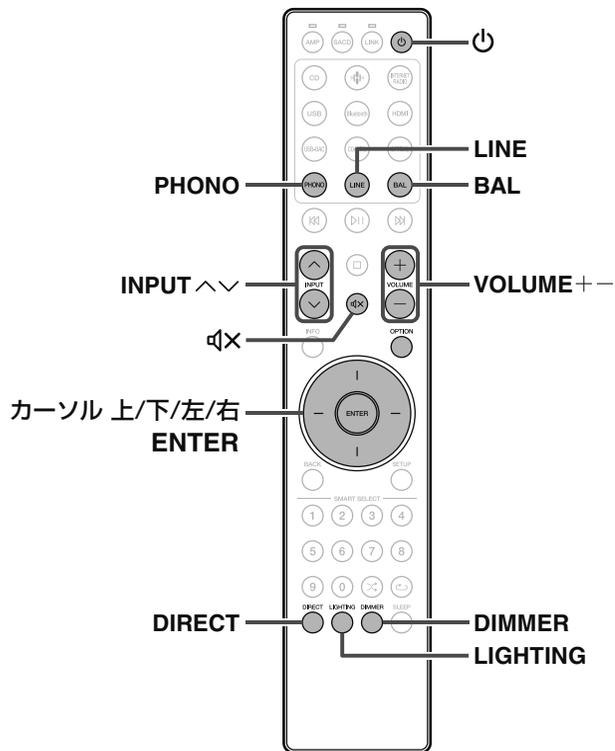


- 付属の電源コードには、極性を表示しています。お好みの音質になるようにコンセントへ差し込んでください。

再生のしかた

■ 目次

電源を入れる	40
電源をスタンバイにする	40
入力ソースを選ぶ	41
音量を調節する	41
一時的に音を消す(ミュート)	41
音質および音量バランスを調節する	42
ソースダイレクトモードで再生する	44
ディスプレイの明るさを切り替える	44
フロントパネルイルミネーション、筐体内イルミネーション およびディスプレイの点灯/消灯を切り替える	45
本機をパワーアンプとして使用する	45
録音する	46



電源を入れる

- 1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。
ディスプレイが点灯します。



- 本体の電源ボタンを押しても、スタンバイ状態から電源を入れることができません。

電源をスタンバイにする

- 1 電源ボタンを押す。
スタンバイ状態になります。

ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

入力ソースを選ぶ

1 入力ソース選択ボタン(PHONO/LINE/BAL)を使用して再生する入力ソースを選ぶ。

ディスプレイに選んだ入力ソースを表示します。



- LINE を押すたびに Line 1 および Line 2 が切り替わります。
- BAL を押すたび Balanced 1 および Balanced 2 が切り替わりません。
- INPUT \blacktriangle ボタンを押しても、入力ソースを選択できます。
- 本体の INPUT を回しても、入力ソースを選択できます。

音量を調節する

1 VOLUME \pm を押して、音量を調節する。

ディスプレイに音量を表示します。



- 本体の VOLUME を回しても、音量を調節できます。
- 音量レベルの表示方法を変更できます。(P.50 ページ)

一時的に音を消す(ミュート)

1 M を押す。

ディスプレイに“Mute”を表示します。



- ミュートを解除するときは、音量を調節するか、もう一度 M を押してください。

音質および音量バランスを調節する

■ 音質を調節する

- 1 **OPTION** を押す。
ディスプレイにオプションメニュー画面を表示します。
- 2 カーソル 上/下を押して“Tone”を選び、ENTER を押す。
- 3 カーソル 上/下を押して“Bass”または“Treble”を選び、ENTER を押す。
 - F.C.B.S.接続をおこなっている場合、手順 3 の後に F.C.B.S. ID (“Leader”、“Member 1”、“Member 2”または“Member 3”) を選ぶ画面を表示します。カーソル 上/下を押して設定する機器の ID を選び、ENTER を押してください。

4 カーソル 上/下を押して低音または高音の音量を調節する。

Bass:	-10 dB~+10 dB(お買い上げ時の設定:0 dB)
Treble:	-10 dB~+10 dB(お買い上げ時の設定:0 dB)



- 入力ソースが“Power Amp Balanced”または“Power Amp Unbalanced”に設定されている場合、音質調節機能は動作しません。
- ソースダイレクトモードがオンの場合、音質調節機能は動作しません。

■ 音量バランスを調節する

1 OPTION を押す。

ディスプレイにオプションメニュー画面を表示します。

2 カーソル 上/下を押して“Trim”を選び、ENTER を押す。

3 カーソル 左/右を押して“Left”または“Right”を選ぶ。

- F.C.B.S.接続をおこなっている場合、手順 3 の後に F.C.B.S. ID (“Leader”、“Member 1”、“Member 2”または“Member 3”)を選ぶ画面を表示します。カーソル 上/下を押して設定する機器の ID を選び、ENTER を押してください。

4 カーソル 上/下を押して音量を調節する。

Left: $-\infty$ (最小)、-19.0 - 0 (最大) (お買い上げ時の設定: 0)

Right: $-\infty$ (最小)、-19.0 - 0 (最大) (お買い上げ時の設定: 0)



- 入力ソースが“Power Amp Balanced”または“Power Amp Unbalanced”に設定されている場合、音量バランス調節機能は動作しません。
- ソースダイレクトモードがオンの場合、音量バランス調節機能は動作しません。
- ソースダイレクトモードがオンの場合、“Trim”の設定は 0 (最大) に設定されます。

ソースダイレクトモードで再生する

音声信号が音質調節回路を通らないため、より原音に忠実な再生ができます。

1 DIRECT を押してソースダイレクトモードをオンにする。

ディスプレイに“Source Direct”を表示します。



- 入力ソースが“Power Amp Balanced”または“Power Amp Unbalanced”に設定されている場合、ソースダイレクト機能は動作しません。

ディスプレイの明るさを切り替える

ディスプレイの明るさは、100%からオフ(0%)まで 5%刻みで調節できます。ディスプレイの明るさを消灯にすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

1 DIMMER を押す。

ディスプレイにディマーメニューを表示します。

2 カーソル 上/下を押してディスプレイの明るさを調節する。

- DIMMER を押してもディスプレイの明るさを調節できません。



- ディ스플레이が消灯しているときにボタン操作をおこなうと、100%の明るさで一時的に情報を表示します。
- お買い上げ時のディスプレイの明るさの設定は 100%です。
- ディ스플레이の明るさの設定は、設定メニューの“Illumination” - “Display”の設定と連動します。(P.49 ページ)
- LIGHTING を押して消灯した状態では、DIMMER ボタン操作がはたきません。

フロントパネルイルミネーション、筐体内イルミネーションおよびディスプレイの点灯/消灯を切り替える

フロントパネルイルミネーション、筐体内イルミネーションおよびディスプレイの点灯/消灯を切り替えます。

1 LIGHTING を押す。

- ボタンを押すたびに、フロントパネルイルミネーション、筐体内イルミネーションおよびディスプレイの点灯/消灯を切り替えます。



- 設定メニューの“Illumination”でフロントパネルイルミネーション、筐体内イルミネーションおよびディスプレイの明るさをそれぞれ設定できます。(P.49 ページ)
- LIGHTING を押して点灯させると、フロントパネルイルミネーション、筐体内イルミネーションおよびディスプレイの明るさが設定メニューの“Illumination”で設定した明るさで点灯します。(P.49 ページ)

本機をパワーアンプとして使用する

プリアンプを接続して本機をパワーアンプとしてお使いの場合は、本機の入カソースを“Power Amp Balanced”または“Power Amp Unbalanced”に切り替えてください。

バランス接続している場合は“Power Amp Balanced”、アンバランス接続している場合は“Power Amp Unbalanced”を選んでください。

1 INPUT へ▼を押して、入カソースを“Power Amp Balanced”または“Power Amp Unbalanced”に切り替える。

ディスプレイに“Power Amp Balanced”または“Power Amp Unbalanced”を表示します。



- 入カソースが“Power Amp Balanced”または“Power Amp Unbalanced”のとき、本機の音量、バランス、音質の調節はできません。それらの調節はプリアンプでおこなってください。

ご注意

- 入カソースが“Power Amp Balanced”または“Power Amp Unbalanced”のとき、本機の音量は最大になります。再生する前に入力側の機器の出力レベルを確認し、音量を調節してください。

録音する

本機に入力した音声信号を、外部の録音機器に出力することができます。本機に接続した再生機器の音声を録音する際、再生機器を本機に接続したまま録音できます。

- 1 **⏻を押して、電源を入れる。**
- 2 **INPUT へ▼を押して、録音したい入力ソースに切り替える。**
ディスプレイに選んだ入力ソースを表示します。
- 3 **録音をはじめると。**
 - 操作のしかたは、録音機器の取扱説明書をご覧ください。



- 本機がスタンバイ状態のときは、アナログ音声出力端子(LINE OUT)から音声は出力されません。

設定のしかた

設定メニュー 一覧

設定メニューの操作をおこなうときは、参照ページをご覧ください。

本機はお買い上げ時の設定をおすすめの設定にしています。ご使用のシステムやお好みに合わせて本機をカスタマイズすることができます。

設定項目	内容	参照ページ
Level Meter	レベルメーターの表示/非表示を設定します。	49
Illumination	フロントパネルイルミネーション、筐体内イルミネーションおよびディスプレイの明るさを調節できます。また、フロントパネルイルミネーションと筐体内イルミネーションをディスプレイの明るさに連動させることもできます。明るさを“Off”にすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生がおこなえます。	49
Volume Scale	音量の表示方法を設定します。	50
Phono	接続するレコードプレーヤーのカートリッジの種類やインピーダンスに応じて、本機のフォノイコライザーを設定します。	50
Auto-Standby	音声の入力がない状態で本機を約 15 分間操作しないとき、自動的にスタンバイになるように設定します。	51

Level Meter

レベルメーターの表示/非表示を設定します。レベルメーターでは出力レベルを表示します。

Off (お買い上げ時の設定):	レベルメーターを表示しません。
Power Amp:	入力ソースが“Power Amp Balanced”または“Power Amp Unbalanced”の場合、レベルメーターを表示します。
On:	すべての入力ソースでレベルメーターを表示します。

Illumination

フロントパネルイルミネーション、筐体内イルミネーションおよびディスプレイの明るさを調節できます。また、フロントパネルイルミネーションと筐体内イルミネーションをディスプレイの明るさに連動させることもできます。明るさを“Off”にすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生がおこなえます。

■ Display

100~5(お買い上げ時の設定: 100)

Off



- ディスプレイの明るさ設定は、ディマーマニューの設定と連動します。(P44 ページ)

■ Front Panel

Sync
(お買い上げ時の設定): フロントパネルイルミネーションの明るさが、ディスプレイの明るさに連動します。

100~5

Off

■ Interior

Sync
(お買い上げ時の設定): 筐体内イルミネーションの明るさが、ディスプレイの明るさに連動します。

100~5

Off

Volume Scale

音量の表示方法を設定します。

-99.5 dB ~ 0 dB
(お買い上げ時の設定): 音量を相対値で表示します。

0 ~ 100: 音量を絶対値で表示します。

Phono

接続するレコードプレーヤーのカートリッジの種類やインピーダンスに応じて、本機のフォノイコライザーを設定します。

MM
(お買い上げ時の設定): MM カートリッジの場合に設定します。

MC-Low: 50Ω 未満の MC カートリッジの場合に設定します。

MC-Mid: 50Ω 程度の MC カートリッジの場合に設定します。

MC-High: 100Ω 以上の MC カートリッジの場合に設定します。



- MC カートリッジの場合は、ご使用になるカートリッジの推奨入力インピーダンスに最も近い値か、カートリッジ内部インピーダンスの数倍程度の値に合わせて設定してください。
- 本設定の切り替え操作をおこなった場合、切り替えてから約 4 秒後に再生音を出力します。

Auto-Standby

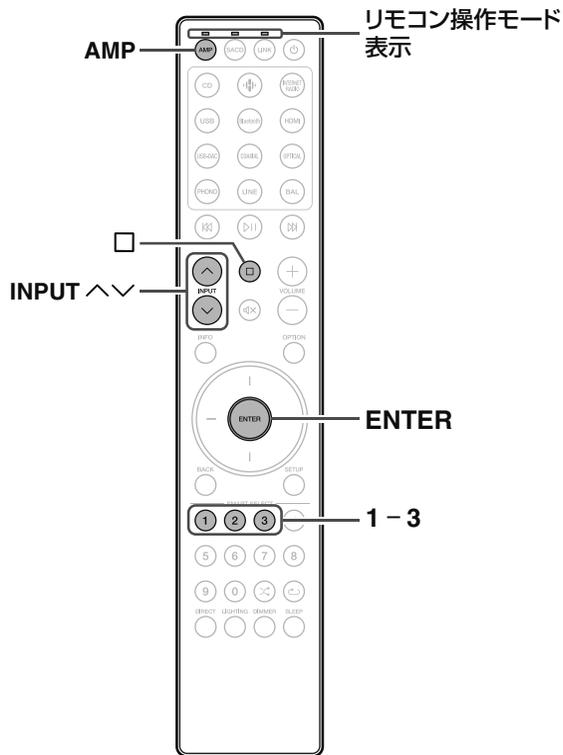
音声の入力がない状態で本機を約 15 分間操作しないとき、自動的にスタンバイになるように設定します。

Off (お買い上げ時の設定):	本機をオートスタンバイモードに設定しません。
On:	本機をオートスタンバイモードに設定します。



- 自動的にスタンバイになる 3 分前から、ディスプレイに残り時間を表示します。
- F.C.B.S.接続で使用した場合、オートスタンバイの検出は ID を “Leader” に設定した機器でのみおこないます。ID を “Leader” に設定した機器に音声入力がない状態で使用する場合は、オートスタンバイモードの設定をオフにしてください。

リモコンコードを設定する



本体と付属のリモコンにはリモコンコードが設定されています。それぞれ 3 種類のリモコンコードから 1 つのコードを選ぶことができ、本体とリモコンのコードが同じ場合にリモコンで本体を操作できます。3 台の MODEL 10 を同じ場所に設置する場合、お買い上げ時の設定のままだと 1 つのリモコン操作に対して、3 台とも同じ動作をします。本体とリモコンが 1 対 1 になるようにリモコンコードを個別に設定すると、1 つのリモコン操作に対してリモコンと同じコードを設定した本体のみ動作します。

リモコンコードを設定したあと、必ずそれぞれの機器の動作を確認してください。

お買い上げ時は“AMP 1”に設定しています。



- 本機にリモート接続した Marantz 製 SACD プレーヤーやストリーミングプリアンプなどから本機をコントロールする場合、リモコンコードを“AMP 1”に設定してください。(P.37 ページ)

リモコンのリモコンコードを設定する

■ リモコンコードを AMP 1、AMP 2 または AMP 3 に設定する

1 AMP を押す。

- リモコンをアンプ操作モードに設定します。

2 □ と数字ボタンの 1、2 または 3 を同時に 5 秒以上押す。

リモコン操作モード表示が緑色で点滅します。

- 選んだ数字ボタンに応じ、リモコンコードを AMP 1、AMP 2 または AMP 3 に設定します。

本体のリモコンコードを設定する

1 リモコンコードを設定したリモコンを本体に向け、□ と ENTER を押す。

本体のリモコンコード設定が完了すると、設定したリモコンコード(AMP 1~3)を、ディスプレイに表示します。

目次

接続のしかた

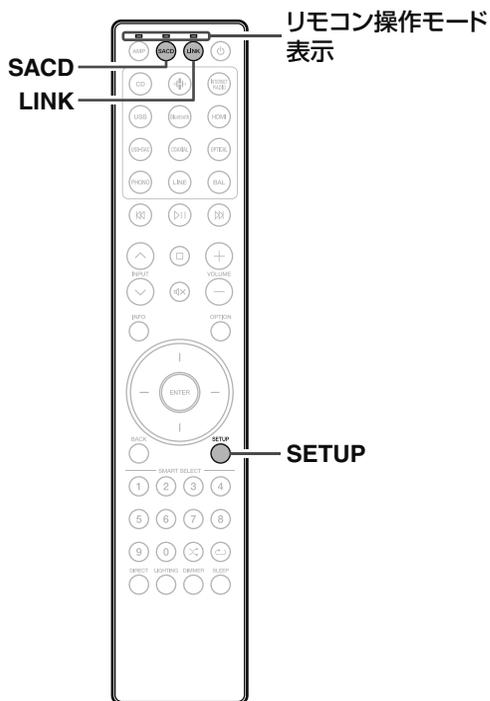
再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

リモコンのSACDプレーヤー/ストリーミングプリアンプ操作モードを無効にする



本機と SACD 10 または LINK 10n を組み合わせてお使いにならない場合、使用しない機器のリモコン操作モードを無効にできます。お買い上げ時は、すべてのリモコン操作モードを有効に設定しています。



- リモコン操作モードを有効にした場合は、必ずお使いの機器の動作を確認してください。

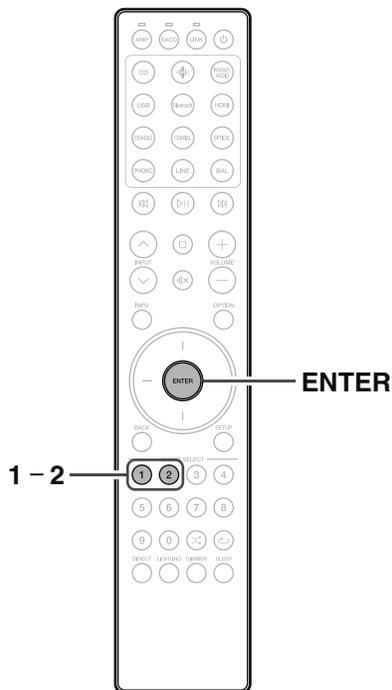
SACD プレーヤー操作モードを無効にする

- 1 リモコン操作モード表示が緑色に点滅するまで SACD と SETUP を同時に長押しする。
 - 手順 1 をおこなうたびに SACD プレーヤー操作モードの有効/無効が切り替わります。

ストリーミングプリアンプ操作モードを無効にする

- 1 リモコン操作モード表示が緑色に点滅するまで LINK と SETUP を同時に長押しする。
 - 手順 1 をおこなうたびにストリーミングプリアンプ操作モードの有効/無効が切り替わります。

リモコンの音量調節ボタンの操作対象機器を設定する



付属のリモコンは、SACD プレーヤー操作モードおよびストリーミングプリアンプ操作モードでも本機の音量調節ができるよう、音量調節ボタンの操作対象機器を設定できます。リモコンの音量調節ボタンの操作対象機器として「アンプ」または「ストリーミングプリアンプ」を選べます。



- リモコンの音量調節ボタンの操作対象機器を設定したあとは、必ずお使いの機器の動作を確認してください。
- 操作対象機器設定の切り替えは、リモコンの VOLUME + ー および  に対して有効です。

SACD プレーヤー操作モード時の音量調節ボタンの操作対象機器を設定する

Marantz 製の SACD プレーヤーを本機と組み合わせてお使いの場合、付属のリモコンを SACD プレーヤー操作モードに設定した状態で、アンプ操作モードに切り替えることなく本機の音量を調節できます。

お買い上げ時の操作対象機器の設定は「アンプ」です。

■ 音量調節ボタンの操作対象機器を本機(アンプ)に設定する

- 1 リモコンの ENTER と 1 ボタンを 5 秒以上同時に長押しする。
AMP 表示が緑色で点滅します。

■ 音量調節ボタンの操作対象機器をストリーミングプリアンプに設定する

- 1 リモコンの ENTER と 2 ボタンを 5 秒以上同時に長押しする。
LINK 表示が緑色で点滅します。

ストリーミングプリアンプ操作モード時の音量調節ボタンの操作対象機器を設定する

Marantz 製のストリーミングプリアンプを本機と組み合わせてお使いの場合、付属のリモコンをストリーミングプリアンプ操作モードに設定した状態で、アンプ操作モードに切り替えることなく本機の音量を調節できます。

お買い上げ時の操作対象機器の設定は「ストリーミングプリアンプ」です。

■ 音量調節ボタンの操作対象機器をストリーミングプリアンプに設定する

- 1 リモコンの ENTER と 1 ボタンを 5 秒以上同時に長押しする。
LINK 表示が緑色で点滅します。

■ 音量調節ボタンの操作対象機器を本機(アンプ)に設定する

- 1 リモコンの ENTER と 2 ボタンを 5 秒以上同時に長押しする。
AMP 表示が緑色で点滅します。

困ったときは

■ 目次

こんなときの解決方法

お好みの音質に調節したい	59
ディスプレイを消灯したい	59
フロントパネルイルミネーション、筐体内イルミネーション およびディスプレイをオフにしたい	59
MODEL 10 を複数台使用して高品位な再生をおこないたい	59
本機のリモコンで Marantz 製 SACD プレーヤーやストリー ミングプリアンプを操作したい	59
本機をパワーアンプとして使用したい	59
本機をプリアンプとして使用したい	59
MODEL 10 を複数台同じ場所で使用したい	59

故障かな？と思ったら

電源が入らない / 電源が切れる	61
リモコンで操作ができない	63
本機のディスプレイが表示されない	64
音がまったく出ない	64
希望する音が出ない	65
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	66

こんなときの解決方法

お好みの音質に調節したい

- OPTION ボタンを押して、オプションメニューの“Tone”で調節してください。(🔍42 ページ)

ディスプレイを消灯したい

- DIMMER ボタンを押して、ディマーメニューでディスプレイの明るさを調節してください。(🔍44 ページ)

フロントパネルイルミネーション、筐体内イルミネーションおよびディスプレイをオフにしたい

- LIGHTING ボタンを押して消灯してください。(🔍45 ページ)

MODEL 10 を複数台使用して高品位な再生をおこないたい

- ステレオコンプリートパイアンプ接続をおこなってください。(🔍30 ページ)
- マルチチャンネル接続をおこなってください。(🔍32 ページ)

本機のリモコンで Marantz 製の SACD プレーヤーやストリーミングプリアンプを操作したい

- 本機のリモコンでも Marantz 製 SACD プレーヤーやストリーミングプリアンプを操作できます。各機器の取扱説明書も合わせてお読みください。(🔍14 ページ)

本機をパワーアンプとして使用したい

- 本機のパワーアンプ入力端子 (POWER AMP IN) にプリアンプを接続し、入力ソースを“Power Amp Balanced”または“Power Amp Unbalanced”に切り替えてください。(🔍25 ページ)

本機をプリアンプとして使用したい

- パワーアンプを本機のプリアンプ出力端子 (PREAMP OUT) に接続してください。(🔍25 ページ)

MODEL 10 を複数台同じ場所で使用したい

- それぞれの機器とリモコンの組み合わせごとに別々のリモコンコードを設定してください。(🔍52 ページ)

故障かな？と思ったら

最初に次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。

なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でもお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

電源が入らない / 電源が切れる

電源が入らない。

- コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。(☞38 ページ)
- 本機はスタンバイ状態です。本体の  ボタンを押すかリモコンの  ボタンを押してください。(☞40 ページ)

電源が自動的に切れる。

- オートスタンバイモードがオンになっています。音声入力がない状態で約 15 分間本機を操作しないでいると、本機は自動的にスタンバイになります。オートスタンバイモードを解除するには、設定メニューの“Auto-Standby”を“Off”に設定してください。(☞51 ページ)
- 本機と電源連動機能に対応した Marantz 製オーディオ機器をリモート接続すると、接続した機器の電源オフ操作に連動して本機の電源がオフ(スタンバイ)になります。(☞37 ページ)

電源が切れ、電源表示が長く 1 回橙色点滅したあとに、短く 2 回橙色点滅している。

- 再生機器の再生を停止し、電源を入れ直してください。
- 電源を入れなおしても問題が解決しない場合は、本機のアンプ回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

電源が切れ、電源表示が長く 1 回橙色点滅したあとに、短く 3 回橙色点滅している。

- 本機の電源回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

電源が切れ、電源表示が長く 1 回橙色点滅したあとに、短く 4 回橙色点滅している。

- 機器内部の温度上昇により、保護回路がはたらいています。電源が切れている状態で、1 時間程度待ち、本機の温度が十分下がってから、電源を入れ直してください。
- 本機を風通しの良い場所に設置し直してください。
- 再生機器の再生を停止し、電源を入れ直してください。

電源が切れ、電源表示が長く 1 回橙色点滅したあとに、短く 5 回橙色点滅している。

- スピーカーの接続を確認してください。スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、芯線が端子から外れたりして、芯線が本機のリアパネルに接触したため、保護回路がはたらいている可能性があります。電源コードを抜き、芯線をしっかりとよじり直すか、端末処理をするなどしたあとで、接続し直してください。(P.18 ページ)
- 再生機器の再生を停止し、電源を入れ直してください。
- 電源を入れなおしても問題が解決しない場合は、本機のアンプ回路または電源回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

電源が切れ、電源表示が長く 1 回橙色点滅したあとに、短く 6 回橙色点滅している。

- 本機の電源回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

リモコンで操作ができない

リモコンで操作ができない。

- 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。(P.6 ページ)
- リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。(P.6 ページ)
- 本体とリモコンの間の障害物を取り除いてください。
- 乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。(P.6 ページ)
- 本体のリモコン受光部に強い光(直射日光、インバーター式蛍光灯の光など)があたっています。受光部に強い光があたらない場所に設置してください。
- 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間(テレビや 3D 視聴用メガネなど)の赤外線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなる場合があります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。
- AMP ボタンを押して、リモコンの操作モードをアンプ操作モードに切り替えてください。(P.12 ページ)
- リモコンのアンプ操作モードが無効になっています。アンプ操作モードを有効にするには、AMP ボタンと SETUP ボタンを同時に 3 秒以上長押ししてください。
- VOLUME + および MUTE ボタンの操作対象機器が、Marantz 製ストリーミングプリアンプになっています。リモコンが SACD プレーヤー操作モードで、本機の音量調節ができない場合は、操作対象機器を本機に切り替えてください。(P.57 ページ)
- VOLUME + および MUTE ボタンの操作対象機器が、Marantz 製ストリーミングプリアンプになっています。リモコンがストリーミングプリアンプ操作モードで、本機の音量調節ができない場合は、操作対象機器を本機に切り替えてください。(P.57 ページ)
- 本体とリモコンのリモコンコード設定が異なります。本体とリモコンのリモコンコードを同じコードに設定してください。(P.52 ページ)
- Marantz 製オーディオ機器がリモート接続されておらず、本機のみで使用される場合は、EXTERNAL/INTERNAL スイッチを「INTERNAL」に切り替えてください。(P.37 ページ)

本機のディスプレイが表示されない

ディスプレイの表示が消える。

- DIMMER ボタンを押して、ディマーメニューで“Off”以外に設定してください。(☞44 ページ)
- LIGHTING ボタンを押して、ディスプレイを点灯してください。(☞45 ページ)
- 設定メニューの“Illumination” - “Display”を“Off”以外に設定してください。(☞49 ページ)

音がまったく出ない

スピーカーから音が出ない。

- すべての機器の接続を確認してください。(☞17 ページ)
- 接続ケーブルを奥まで挿してください。
- 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。
- ケーブルが破損していないか確認してください。
- スピーカーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。ケーブルの芯線がスピーカー端子の金属部に接触していることを確認してください。(☞18 ページ)
- スピーカー端子をしっかり締めてください。また、スピーカー端子の締めつけが緩んでいないか確認してください。(☞18 ページ)
- 適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。(☞41 ページ)
- 音量が最小になっています。音量を適切な大きさに調節してください。(☞41 ページ)
- ミューティング(消音)モードを解除してください。(☞41 ページ)

希望する音が出ない

特定のスピーカーから音が出ない。

- スピーカーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。(P.18 ページ)
- OPTION ボタンを押し、オプションメニューの“Trim”で左右の音量バランスを調節します。(P.43 ページ)

ステレオ再生のときに、左右の音声が入れ替わっている。

- 左右のスピーカーが正しいスピーカー端子に接続されているか確認してください。(P.18 ページ)

“Bass”、“Treble”および“Trim”の設定が反映されない。

- DIRECT ボタンを押し、ソースダイレクトモードをオフに設定してください。(P.44 ページ)

プリアンプ出力端子(PREAMP OUT)に接続したパワーアンプから音声が正しく出力されない。

- パワーアンプとの接続を確認してください。(P.25 ページ)

パワーアンプ入力端子(POWER AMP IN)に接続したプリアンプから音声が正しく出力されない。

- プリアンプとの接続を確認してください。(P.25 ページ)
- 入力ソースが“Power Amp Balanced” または “Power Amp Unbalanced” に設定されているか確認してください。(P.41 ページ)

音が途切れたり、ノイズが入ったりする

レコード再生のときに、音がひずむ。

- 針圧を調節してください。
- レコードの針先を確認してください。
- カートリッジを交換してください。

レコード再生のときに、“ブーン”という雑音スピーカーから出力される。

- レコードプレーヤーが正しく接続されていることを確認してください。(P.22 ページ)
- レコードプレーヤーの近くにテレビや AV 機器などがあると、再生音に影響を受ける場合があります。レコードプレーヤーをテレビや AV 機器などから離して設置してください。

レコード再生のときに音量を大きくすると、“ワーン”という雑音スピーカーから出力される。(ハウリング現象)

- レコードプレーヤーとスピーカーを離して設置してください。(P.22 ページ)
- スピーカーの振動が床を通してプレーヤーに伝わる場合があります。スピーカーの振動をクッションなどで吸収させてください。

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。
保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

- 保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料・・・故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代・・・修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料・・・製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるためのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

エラーメッセージについて

F.C.B.S.接続で MODEL 10 を複数台使用した場合、ディスプレイに次の表のようなエラーメッセージが表示されることがあります。このような場合は ID の設定やリモートケーブルの接続に問題があります。次の表を参考にして ID やリモートケーブルの接続が正しいかを確認してください。ID の設定のしかたは、「F.C.B.S.の ID の設定のしかた」(P.29 ページ)をご覧ください。

エラーコード	意味	原因/解決策
001	ID“Member 1”のアンブが重複しています。	• ID が重複しないように ID を設定してください。
002	ID“Member 2”のアンブが重複しています。	
003	ID“Member 3”のアンブが重複しています。	
011	ID“Member 1 - 3”のアンブが ID“Leader”のアンブと通信できません。	• ID“Leader”のアンブに電源が入っていない場合は電源を入れてください。 • リモートケーブルが正しく接続されているか確認してください。
012	ID“Leader”のアンブが ID“Member 1 - 3”のアンブと通信できません。	• ID“Leader”のアンブが重複している場合は ID を正しく設定してください。 • ID“Leader”のアンブに ID“Off”のアンブを接続している場合は、ID を正しく設定してください。 • リモートケーブルが正しく接続されているか確認してください。

付録

用語の解説

MM/MC カートリッジ

レコードプレーヤーに取り付けるカートリッジには、MM 型 (Moving Magnet) と、MC 型 (Moving Coil) の 2 種類があります。出力レベルがそれぞれ異なるため、本機に搭載しているフォノイコライザーアンプの設定を、お使いのカートリッジの種類に合わせて切り替える必要があります。設定の切り替えは設定メニューの“Phono”でおこなってください。(P.50 ページ)

ソースダイレクト

入力された音声信号を、音質調節回路 (Bass/Treble/Trim) を通さずに出力するため、より原音に忠実な再生がおこなえます。

スピーカーインピーダンス

交流抵抗値のことで Ω (オーム) という単位であらわします。この値が小さいほど大きな電力が得られます。

保護回路

何らかの原因で過負荷や過電圧、高温状態などの異常が起きたときに、電源内部の部品が破損するのを防止する機能です。

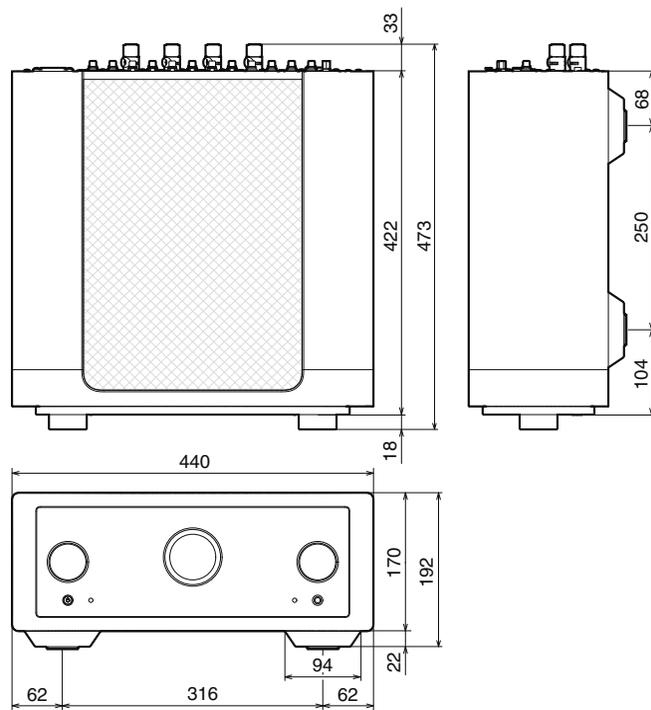
主な仕様

• 定格出力(両チャンネル同時駆動):	250W x 2(負荷 8Ω、20Hz~20kHz、T.H.D. 0.05%) 500W x 2(負荷 4Ω、20Hz~20kHz、T.H.D. 0.05%)
• 歪率(THD+N, CCIF IMD, DFD IMD) (20Hz~20kHz、両チャンネル同時駆動時、 125W、負荷 8Ω、AES 20kHz LPF):	0.005%
• 周波数特性(CD、1W、負荷 8Ω):	5Hz~60kHz +0dB/-3dB 20Hz~20kHz +0dB/-0.3dB
• ダンピングファクター(負荷 8Ω、20Hz~20kHz):	500
• 入力感度/ 入力インピーダンス	
PHONO(MC Low):	400μV/33Ω
PHONO(MC Mid):	400μV/100Ω
PHONO(MC High):	400μV/390Ω
PHONO(MM):	3.6mV/39kΩ
BALANCED 1/BALANCED 2:	700mV/36kΩ
LINE 1/LINE 2/RECORDER:	350mV/47kΩ
POWER AMP UNBALANCED:	1.58V/47kΩ
POWER AMP BALANCED:	3.16V/15kΩ
• 出力電圧/出力インピーダンス	
PREOUT UNBALANCED:	1.58V/230Ω
PREOUT BALANCED:	3.17V/480Ω

- PHONO 最大許容入力(1kHz)
 - MC: 8mV
 - MM: 80mV
- RIAA 偏差(20Hz~20kHz): ±0.5dB
- S/N 比(IHF A ネットワーク、負荷 8Ω)
 - PHONO(MC): 76dB(0.5mV 入力、1W 出力)
 - PHONO(MM): 88dB(5mV 入力、1W 出力)
 - BALANCED 1/BALANCED 2: 122dB(4V 入力、定格出力)
 - LINE 1/LINE 2/RECORDER: 122dB(2V 入力、定格出力)
- トーンコントロール
 - BASS(50Hz): ±10dB
 - TREBLE(15kHz): ±10dB
- 動作温度: +5℃~+35℃
- 電源: AC100V、50/60Hz
- 消費電力: 270W
- スタンバイ時の消費電力: 0.1 W

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 寸法(単位:mm)



■ 質量:33.7kg

目次
接続のしかた
再生のしかた
設定のしかた
困ったときは
付録

索引

カ	
CD プレーヤー	22

カ	
オートスタンバイモード	51
音量	41

カ	
故障かな?と思ったら	60
こんなときの解決方法	59

カ	
スピーカー	18
スピーカーインピーダンス	70

カ	
トーン	42

カ	
入力ソース	41

カ	
ネットワークオーディオプレーヤー ..	22

カ	
パワーアンプ	25

カ	
プリアンプ	25
フロントパネル	7

カ	
保護回路	70

カ	
ミュートイング	41

カ	
リアパネル	10
リモコン	12
リモコンコード設定	53

カ	
レコードプレーヤー	22

カ	
録音機器	24



marantz

Printed in Japan 5411 12111 00AS
© 2024 Masimo. All Rights Reserved.